

第3版はしがき

第2版を刊行して5年以上が経過した。法学の教科書は、法令の改正や新判例の登場等によって刊行した次の日から古くなるのが宿命づけられている。そこで、主として情報を新しいものとするを目的として改訂を行ったのが、この第3版である。

本書はもともと甲南大学法学部における1年次前期配当科目「公法入門」用の教科書として企画・刊行された。中心となって執筆・編集に尽力された小泉洋一・島田茂両先生は既に退職され、公法担当のスタッフは大きく入れ替わった。そこで全面的に見直すことも考えたものの、小泉・島田両先生によってよく考えられた内容を根本的に書き換えることは容易なことではなく、また他大学でも使用していただいているので望ましいことでもないと考え、情報の更新にとどめた（島田先生担当箇所については小舟賢先生に尽力いただいた）。ただし、第10講「地方自治」については、神戸市との連携講義「自治体のしくみと仕事」が開講されることもあり、全面的に改めた。

本書執筆の趣旨は初版から変わっていない。多くの読者にとって公法の基礎知識と基本的な考え方の修得に役立てば幸いである。

2021年6月

櫻井 智章